

「認定第19号 平成19年度飯塚市立病院事業会計決算の認定」についてを議題といたします。

初めに、監査委員に対する質疑を許します。質疑はありますか。

( 質疑なし )

監査委員に対する質疑を終結いたします。

次に、本案に対する質疑を許します。質疑はありますか。

○ 楡井委員

それでは、今年度2億8,600万円余りで筑豊労災病院を国から買い取るということになりまして、この金額も地域医療振興協会が負担するというふうに説明を受けておりました。したがって、飯塚市としては財政的な負担は一切ないというふうにもあわせて説明をしてこられたんですけども、この経過は実際そんなふうに言われてきたとおりになっているのかどうかについてまずお聞きしたいと思います。

○ 健康増進課長

筑豊労災病院の買い取り費用につきましては、言われますように2億8,600万円ほどになりますけれども、病院事業債と一般会計の出資金をその財源といたしております。事業債等の後年度償還分につきましては、交付税措置分を除いたものを地域医療振興協会が負担するようになっておりますので、実質的な市としての負担はございません。

○ 楡井委員

市としての負担がないというふうに言われたきたこれまでの経過がありますが、2億8,600万円余りの金額の内訳を説明していただけますか。

○ 健康増進課長

費用負担の2億8,614万198円につきましては、病院事業債2億1,460万円、合併特例債2,150万円、産炭地振興基金5千万円、残額、これ単費で支出いたしておりますが、4万198円、これを充当いたしております。

○ 楡井委員

病院事業債が2億1,460万円、それから、一般会計から、ちょっと切り捨てあれますけど7,154万円ということになっていて、そのうち5千万円が産炭地域振興基金というところから来ると。この5千万円が問題になった1億円とか5千万円とかって話の金額です。そうすると、2,150万円余りが市の負担というようなことになると思うんですけども、そういう理解でいいんですかね。

○ 健康増進課長

市の負担につきまして、事業債ごとに御説明させていただきたいと思いますが、病院事業債につきましては、10年返済で元利合計約2億3,148万2千円を返済することになります。そのうち約5,208万3千円の交付税措置があるため、協会負担金は1億7,939万9千円となります。

同様に、合併特例債につきましては、10年間返済で、元利合計約2,352万4千円を返済することになり、そのうち約1,646万7千円を交付税措置があるため協会負担金は705万7千円となります。このため、地域振興協会の負担金、これが市のももとの負担金となりますけど、手出し分となりますが、その分を負担額としていただくこととなりますけど、病院事業債、合併特例債の負担額、それに残額4万198円を加えた1億8,649万6,254円となります。

○ 楡井委員

そうすると、地域医療振興協会が負担するのは1億8,600万円余りという理解でいいんですね。

○ 健康増進課長

そのとおりでございます。

○ 楡井委員

それでは、今度は医療スタッフの関係で、特にお医者さんの関係をお聞きしたいと思います。

現在のお医者さんの状況は、何度かここでお聞きしたり、それから、市民会議ですかね。そういうところからの御報告でもあっておりましたけれども、現在は22人というふうにお聞きしております。これはスタートしたときから小児科と麻酔科に1人ずつふえてというような状況であります、そういうことでいいですか。

○ 健康増進課長

市立病院の常勤医師の状況につきましては、委員がおっしゃられたとおりでございます。

○ 楡井委員

そうすると、この状況は、決算にも今かかってくる状況じゃないかなというふうに思います。次に、指定管理ということになれば、これなかなか議会のチェックが入りにくいという状況がありますから、これは市の財政を入れてでも、お医者さんの確保をせないかんというように我々主張してきたところでありますけれども、今言ったように市の財政もほとんど入らないということになりますので、ぜひお医者さんの確保については、今後とも、これは大いに努力してもらおうというふうにしていきたいという要望もあわせて行わせていきたいと思っております。

○ 委員長

ほかに質疑はありませんか。

( な し )

質疑を終結いたします。

討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

19年決算なんですけれども、この19年度からやはり医者の確保については、それなりに注意もしてきたというふうに思います。にもかかわらず現在でも、現在のこと言うちやいかんということでしょうけれども、20年3月31日時点では、19名というもともと目標にしていたといいますか、市民に約束をしていた32名からすれば、大いに少ないという結果になって今年度をスタートしているという状況からすれば、颯田病院の二の舞になる可能性もあるんじゃないか、こういうふうに出して。そうすると果して地域医療振興協会が、このまま30年間運営してくれるかどうかということについても大変危ういものを感じるということも指摘して、この市の財産を出しても、やはり市民病院をしっかりとものにしていこうというふうにしていきたい。

したがって、一銭も出さないからということで市民病院を不安な状態に陥れないようにしていきたいというふうに思います。

○ 委員長

「認定第19号 平成19年度飯塚市立病院事業会計決算の認定」について認定することに賛成の委員は挙手願います。

(挙手 賛成多数)

賛成多数、よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

暫時休憩いたします。

休 憩 10：35

再 開 10：44